

NET Architecture Forum

デベロッパーのための オーケストレーション 完全ガイド

第2回

3つのシナリオに見るBizTalkソリューション

溝端 二三雄 MIZOBATA, Fumio

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
BizTalk Server

Level

Samples

・本稿で取り上げたサンプルおよび、関連ドキュメント『BizTalk Server自習書（デベロッパーのためのオーケストレーション完全ガイド）』は、
<http://www.microsoft.com/japan/BizTalk/Orchestration/learning/>
より入手できます。

BizTalk Server **デベロッパーのための**
オーケストレーション
完全ガイド

ASP.NET + BizTalk オーケストレーション

今回はBizTalk Serverをアプリケーション統合（EAI：Enterprise Application Integration）のために使用するのではなく、単体のアプリケーションのプラットフォームとして使用することのメリットを解説しました。今回は、その具体例を見てゆくことにしましょう。

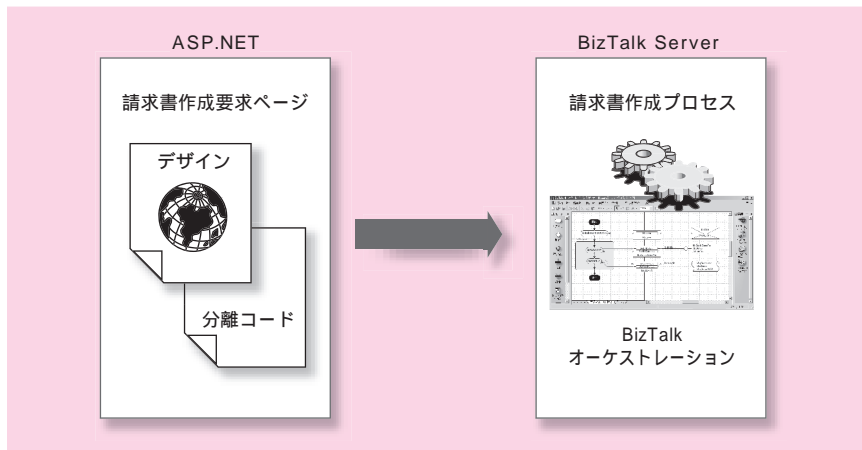
今回、例として使用するサンプルアプリケーションは、マイクロソフトのサイトでダウンロードし、実際に作成

してみることが可能です。このサンプルアプリケーションは、ASP.NETを使用して作成された、販売管理アプリケーションの販売処理中にある、請求書作成のビジネスプロセスをBizTalkオーケストレーションで実装したものです。

このサンプルアプリケーションの概要は図1のとおりです。

請求書発行要求がASP.NET Webアプリケーションによって実行される際に、BizTalkオーケストレーションが呼び出され、請求書発行処理が行なわれるようになっていきます。

図1：サンプルアプリケーションの概要



サンプルアプリケーションのシナリオ

このサンプルアプリケーションには3つのシナリオが適用されます。

シナリオ 1 基本的な請求書発行プロセス (図2)

請求書発行要求として、発注番号を受け取る
該当する発注データを請求済みに更新する
請求書を出力する

単純な請求書発行プロセスなので、BizTalkオーケストレーションを使用するメリットがないようにも思えます。あえて挙げるとすれば、この処理はひとつのトランザクションとして処理しないと、未請求の発注データが請求済みとして取り扱われる可能性があることでしょうか。しかし、これだけで、BizTalkオーケストレーションを使用するメリットがあるのでしょうか？

シナリオ 2 担当営業による承認機能の追加 (図3)

顧客からの注文時に、上得意顧客に対しては特別な割引を適用することがありますが、請求時にも、発注後に大量の追加注文が入った場合などには、特別割引を提供することがあるかもしれません。また、特別割引を追加しなくても、担当営業の知らないうちに、自分の顧客に請求書が送付されるような事態を歓迎するわけがありません。このため、請求書を出力する前には、必ず担当営業の承認が必要であることが要求されました。

この処理は単純なものではありません。なぜなら、担当営業に対する承認要求がいつ処理されるかわからないからです。ほとんどの場合、数時間から1日くらいで処理されるかもしれませんが、数日後に処理される可能性もあります。ASP.NET Webアプリケーションを使用して、請求書発行要求を行なった経理担当者が、ブラウザの前でこれだけの時間を待ってられるはずがありません。

また、担当営業の個人的判断によって特別割引が追加されることになるので、もし、特別割引が追加された場合、マネージャに報告することも要求されています。

図2：シナリオ1：基本的な請求書発行プロセス

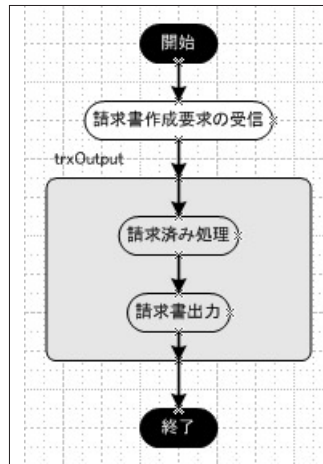


図3：担当営業の承認プロセスを追加

